

「切迫する南海トラフ巨大地震の発生予測と減災に関するシンポジウム」ご案内

主催：公益社団法人土木学会 中部支部

◆開催日：2019年3月18日（月）

◆会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）大ホール <http://www.winc-aichi.jp/>
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-4-38 TEL (052) 571-6131 ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

<p>本講演会は土木学会認定 CPD（継続教育）プログラムです。（認定番号：JSCE18-1449、単位：3.8） 建設系 CPD 協議会加盟の団体所属の方で、ご所属団体の CPD 受講証明書書式が必要な場合は、ご所属先団体の書式に必要な事項をご記入の上、当日ご持参ください。建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD 申請書・受講証明書は当方にて準備いたします。</p>	
13:00~13:10	開会挨拶 土木学会 中部支部長
13:10~13:40	【基調講演】南海トラフ巨大地震対策 ~万全の備えに向けて~（仮） 気象庁 地震火山部 地震予知情報課 課長 青木 元
13:40~14:40	【基調講演】新しい南海トラフ地震対策 名古屋大学 減災連携研究センター長 教授 福和 伸夫
14:40~14:50	休憩
14:50~16:55	<p>パネルディスカッション</p> <p>「カウントダウン南海トラフ巨大地震、我々は何をすべきか？異常現象の情報は？中部地域の防災は？」</p> <p>2017年11月1日より、予知可能を前提とした大震法に基づく確度の高い予測はできないとして、東海地震に関連する情報の発表を取りやめ、「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）の運用がすでに開始している。</p> <p>しかしながら、その情報に対する具体的な示方はない。今回、気象庁でその情報を発信する方、内閣府のWG主査で「南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応のあり方について」を取りまとめた方、主たる産学官関係者に参集いただき、中部地域、強いては日本を守るために本音でディスカッションをしていただきます。</p> <p>また、昨年発生した大阪北部地震、北海道胆振地震から見えてくる課題や最新の知見についても議論いたします。</p> <p>司 会：辻 篤子（名古屋大学 国際機構 特任教授）</p> <p>パネリスト：相津 晴洋（愛知県 防災局長） 青木 元（気象庁 地震火山部 地震予知情報課長） 五百旗頭 弘憲（東海旅客鉄道(株) 技術開発部 防災技術チームマネジャー） 岩田 美幸（国土交通省 中部地方整備局 企画部長） 川北 真嗣（中日本高速道路(株) 保全企画本部 保全担当部長） 野田 利弘（名古屋大学 減災連携研究副センター長 教授） 服部 邦男（中部電力(株) 常務執行役員 土木建築室長） 福和 伸夫（名古屋大学 減災連携研究センター長 教授）</p> <p style="text-align:right">パネリスト以上 8名</p>
16:55~17:00	閉会挨拶

※プログラムおよび講師等については変更する場合があります。また、今回のシンポジウムでは配布資料はございません。

◎参加費：無料

◎定員：500名（申込先着順）

◎申込方法：参加希望者は、中部支部ホームページに掲載してあります申込フォーム（<https://jsce-chubu.jp/>）に住所、氏名等をご記入の上、お申し込み願います。お申し込み後、「送信内容」確認メールが届きましたら、お申込み内容をご確認下さい。

※なお、参加証は送付いたしません。メール内容をプリントアウトいただき、シンポジウム当日に受付にお持ち下さい。

◎質問の事前受付：当日は事前に受付した幾つかの質問に沿った議題およびパネリストによる回答を予定しております。希望者は申込期限までに申込時の申込フォームに直接ご記入いただくか、下記の「問合先メール」までご連絡ください。
なお、いただいたご質問すべてに回答できない場合がございますこと、ご了承ください。

◎申込期限：2019年3月8日（金）必着

◎申込先・問合先：公益社団法人 土木学会中部支部 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-9-26 ポーラ名古屋ビル 8階

TEL：052-222-3705 FAX：052-222-3773

E-mail：jsce758@quartz.ocn.ne.jp ホームページ：<https://jsce-chubu.jp/>